

JICA九州

お近くのJICA窓口

JICA国際協力推進員は、地方自治体の国際交流機関を活動拠点に身近なJICA窓口として活動しているほか、異文化理解や国際協力に関するイベントなどを行っています。
お気軽にご連絡ください。



JICAデスク福岡
 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
 〒812-0025 福岡市博多区店屋町4-1 福岡市国際会館1F
 TEL:092-262-1714 MAIL:jicadpd-desk-fukuokashi@jica.go.jp

JICAデスク佐賀
 (公財)佐賀県国際交流協会
 〒840-0826 佐賀市白山2-1-12 佐賀商工ビル1F
 TEL:0952-25-7921 MAIL:jicadpd-desk-sagaken@jica.go.jp

JICAデスク長崎
 (公財)長崎県国際交流協会
 〒850-0862 長崎市出島町2-11 出島交流会館1F
 TEL:095-823-3931 MAIL:jicadpd-desk-nagasaki@jica.go.jp

JICAデスク熊本
 (一財)熊本市国際交流振興事業団
 〒860-0806 熊本市中央区花畑町4-18 熊本市国際交流会館内
 TEL:096-359-2130 MAIL:jicadpd-desk-kumamotoshi@jica.go.jp

JICAデスク大分
 (公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
 〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター
 TEL:097-533-4021 MAIL:jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp

JICAデスク宮崎
 (公財)宮崎県国際交流協会
 〒880-0805 宮崎市橋通東 4-8-1 カリーノ宮崎地下1階
 TEL:0985-32-8457 MAIL:jicadpd-desk-miyazakiken@jica.go.jp

JICAデスク鹿児島
 (公財)鹿児島県国際交流協会
 〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター1F
 TEL:099-221-6624(直通) MAIL:jicadpd-desk-kagoshimaken@jica.go.jp

JICA九州 facebook

JICA九州のfacebookページは、JICA九州センターの情報だけでなく九州各県のJICAデスクからの情報も満載です。ぜひ一度ご覧ください。沢山の皆様からの「いいね!」をお待ちしております。



JICA九州へのアクセス

JICA九州 〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1 TEL:093-671-6311(代表)

車でお越しの場合

北九州都市高速で八幡ICから大谷ICまで約15分
 北九州都市高速で門司ICから大谷ICまで約25分 } 大谷ICからJICA九州まで約5分

JR 鹿児島本線でお越しの場合

博多 特急 約40分 / 黒崎 快速・各駅停車 約3分 / 八幡 快速 約15分 / 小倉 快速 約15分
 快速 約60分 / 各駅停車 約80分

※鉄道所要時間は目安です。各列車の停車駅、停車時間等により異なりますので、来訪の際は事前にご確認ください。



JICA

Mission

JICAは、開発協力大綱の下、人間の安全保障*と質の高い成長を実現します。

*人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、それぞれの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方のこと。

Vision

信頼で世界をつなぐ
JICAは、人々が明るい未来を信じ
多様な可能性を追求できる、
自由で平和かつ豊かな世界を希求し、
パートナーと手を携えて、
信頼で世界を繋ぎます。

世界のなかの日本の役割

日本も第二次世界大戦後の復興期には国際社会からの支援を受け、戦後の荒廃から経済成長を成し遂げました。黒部ダムや東海道新幹線など、日本の経済発展に必要不可欠だった経済インフラは、世界銀行からの支援で建設されたものです。また、2011年の東日本大震災に際しては、250を超える国・地域、国際機関から、支援物資や支援金・義援金などが届けられました。

1954年、日本は国際社会への貢献の手段として政府開発援助（ODA: Official Development Assistance）を開始しました。それ以来、ODAを通じた日本の国際協力は、国際社会の日本に対する深い信頼や大きな期待につながっています。このような信頼と期待に積極的に対応するためにも、JICAは、日本と開発途上国を結ぶ懸け橋として、日本の戦後復興の知恵と経験も生かしながら、開発途上国の自立と発展に協力していきます。

国際社会が取り組む「持続可能な開発目標（SDGs）」

2015年9月に国連で採択されたSDGsは、2030年までに貧困を撲滅し持続可能な社会を実現するために、「誰一人取り残さない」を基本理念とした国際目標です。社会、経済、環境の3つを包括した17の目標と、それらを達成するための169のターゲットを設けています。先進国・開発途上国も含め、さまざまな立場の人々が協力して取り組むことが求められています。

JICAは、開発途上国の人々を中心に据えた協力をを行う「人間の安全保障」の促進と、包摂的・持続可能で強靭性を備えた「質の高い成長」をミッションとして掲げています。2021年度にはSDGsのProsperity（豊かさ）、People（人々）、Peace（平和）、Planet（地球）の切り口から、20の事業戦略「JICAグローバル・アジェンダ」を設定しました。日本のこれまでの発展や国際協力の経験を生かし、相手国の政府・人々はもちろん、国内外のさまざまなパートナーと協働して、JICAは開発途上国のSDGs達成に貢献します。

関連情報 JICAウェブサイト-SDGsとJICA

日本のODAの中核を担うJICA

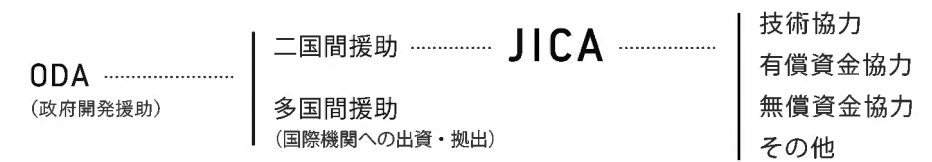
開発途上国の社会・経済の開発を支援するため、政府をはじめ、国際機関、NGO、民間企業などさまざまな組織や団体が経済協力を行っています。これらの経済協力のうち、政府が開発途上国に行う資金や技術の協力をODAといいます。

ODAはその形態から、二国間援助と多国間援助（国際機関への出資・拠出）に分けられます。

JICAは、日本の二国間援助の中核を担う、世界有数の開発援助実施機関です。開発途上国が抱える課題の解決に貢献するため、二国間援助

の3つの手法、「技術協力」「有償資金協力」「無償資金協力」*1を中心としたさまざまな協力メニューを活用し、96カ所に上る海外拠点*2を窓口として、世界の約150の国・地域で事業を展開しています。

また、JICAは、開発途上国と日本国内の地域の結節点として、日本の各地域に15カ所の国内拠点*3を設置しています。地域の特性を生かした国際協力を推進するとともに、国際協力を通じた地域の発展にも貢献しています。



*1 外交政策の遂行上の必要から外務省が実施するものを除く。*2、3 2022年7月現在。

JICAの国内拠点の役割

JICAは、東京の本部に加え、各地域に国内拠点を設置しています。国内拠点は、JICAの国際協力の重要な現場です。開発途上国から来日する研修員に我が国の経験・技術を学ぶ機会の提供や、ボランティアの訓練実施を主な目的としています。また、地域の人々との交流を深める場にもなっています。また、JICA事業や国際協力に関する情

報提供、グローバル人材の育成支援、自治体やNGO、大学、民間企業などと連携した国際協力事業を幅広く推進しています。

国内拠点は、開発途上国と日本の各地域を結ぶ架け橋として、地域の特性を活かした国際協力を推進するとともに、国際協力を通じて地域の発展にも貢献する活動を進めています。



JICAは、96カ所に上る海外拠点を窓口として、世界の約150の国・地域で事業を展開しております。（※海外拠点数は2022年7月時点の数字、※青字はJICA海外拠点を示す。）

CONTENT

一目でわかるJICA九州	4
自治体の皆さま	5
大学・高等専門学校の皆さま	6
学校関係者の皆さま	7
NGO・市民団体の皆さま	8
民間企業の皆さま	9
JICA海外協力隊を目指す皆さま	11
市民の皆さま	12
九州と共に	13



JICA九州は、みなさまと一緒に新たな社会を共創していきます！
お気軽にお声がけください。



一目でわかるJICA九州

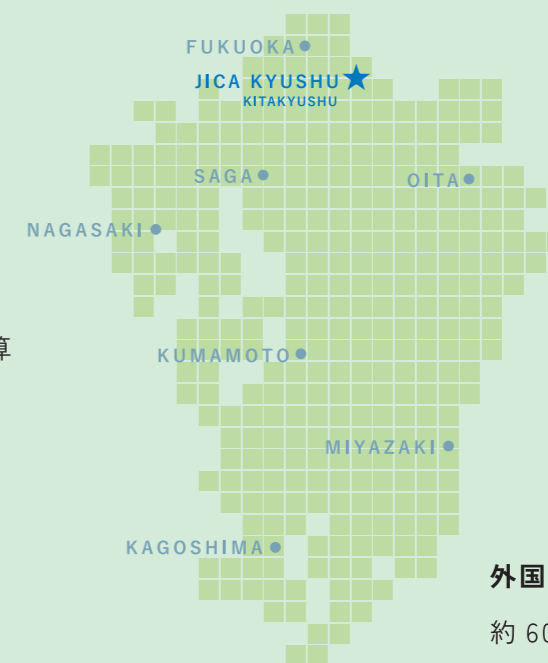
研修員受入れ実績 約1,000人 約120ヶ国／年	九州出身の JICA海外ボランティア経験者 約6,700人 約95ヶ国／通算
--	--

海外プロジェクト

自治体連携事業 約95件／通算
大学連携事業 約20件／通算
NGO・市民団体等 約30件／通算
(2003年以降)

海外ビジネス展開支援

約90件／通算
(2011年以降)



国際協力出前講座実施

約180件
約11,000人／年

外国人材・多文化共生事業

約60件／年

よりよい社会の実現に向けて
九州と世界の多様なヒト・モノ・コトが繋がる
“共創”の場を九州のみなさまに提供します！



自治体の皆さま

— 世界と共に歩む「日本の地域」 —



世界各国の人材と「知を共創」したい

研修員受入事業：

開発途上国の国造りを担う行政官や専門官を研修員として受入れ、研修員同士、また研修員と日本側関係者との議論・対話を通じて相互に学び合い、共に発展する双方方向の関係を築きます。



開発途上国で社会課題を解決したい

草の根技術協力事業

日本の自治体、大学、NGO等の団体が、これまでの知見や経験に基づいて提案する国際協力活動を、JICAと団体の協力関係のもとに実施する事業です。



地域での外国人材活躍・共生を推進したい

外国人材活躍・共生推進に向けて勉強会・セミナー、関係者のネットワーキング、事業連携等を行っています。個別相談から一緒に検討していきます。



大学・高等専門学校の皆さま

— 社会課題の解決に向けた「知の展開」 —



地球規模課題を解決したい

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム

日本と開発途上国の大学・研究機関等が連携し、新たな技術の開発・応用や新しい科学的知見獲得のための共同研究をとおして、環境・エネルギー、生物資源、防災および感染症等の地球規模課題の解決を目指します。



世界各国の人材と「知を共創」したい

研修員受入事業

開発途上国の国造りを担う行政官や専門官を研修員として受入れ、研修員同士、また研修員と日本側関係者との議論・対話を通じて相互に学び合い、共に発展する双方方向の関係を築きます。



開発途上国で社会課題を解決したい

草の根技術協力

日本国内の大学等がこれまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した、開発途上国への協力活動をJICAが支援し、共同で実施します。





学校関係者の皆さま

— 地域と世界をつなぐ —



世界・日本の社会課題を学ぶ機会を提供してほしい

生徒・学生向けプログラム

国際協力出前講座、JICA九州訪問、高校生向け体験プログラムなど、世界と日本の社会課題について考える機会をご提供します。



世界と日本の社会課題を伝える指導者になりたい

先生向けプログラム

教員向け海外研修、開発教育指導者研修や多様なオンライン企画等、世界と日本の社会課題を伝える学びとなる機会をご提供します。



開発教育支援事業の一覧はこちらのパンフレットをご覧ください！



JICA地球ひろば先生・生徒のお役立ちサイト(教材・実践事例・学習指導案)



NGO・市民団体の皆さま

— 世界に踏み出す国際協力 —



国際協力をはじめたい、拡大したい

JICA基金

国際協力に関心のある市民の皆様、法人・団体の皆様からの寄附金を基に、開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する活動を支援しています。より大きな規模の活動は、草の根技術協力(p5)をご参照ください。



事業マネジメントに関する研修等を受講したい

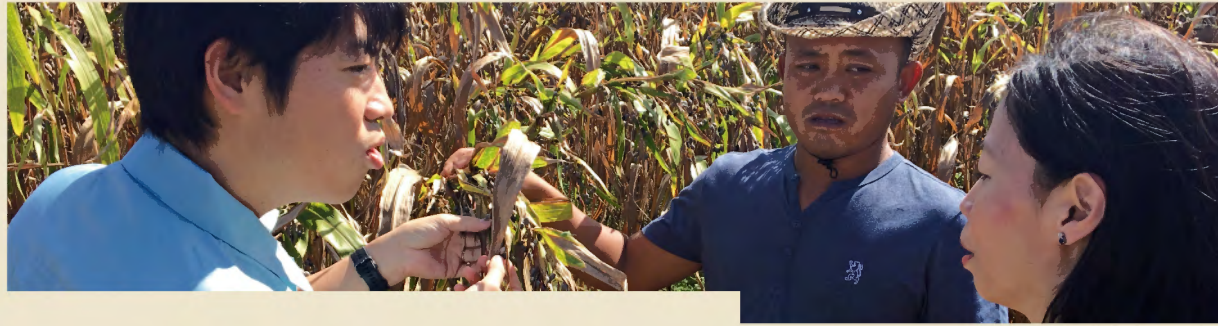
「開発途上国におけるプロジェクトの計画立案、実施・運営等のノウハウを学ぶ研修」や「活動対象国での現地調査を支援する研修」等を行っています。



寄附を通じて、平和で豊かな社会づくりに貢献したい

みなさまからの寄附を基に、日本国内の団体が実施する開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上、日本国内における多文化共生社会の構築を支援します。





西田精麦株式会社（熊本）

民間企業の皆さま

JICAは長年、政府開発援助(ODA)を通じた協力により築いた途上国政府とのネットワークや信頼関係、途上国事業のノウハウを活用し、途上国への海外展開をご検討される日本企業の皆様を支援します。



株式会社 FUKUSHO（福岡）



外国人材の活躍でセネガルの無電化村に電気を届けたい

農村地方の電化に課題があるというセネガルにおいて、太陽光発電事業の計画からメンテナンスまですべて自社でまかなう技術力・ノウハウを活かしビジネス化に取り組んでいます。またABEイニシアティブの研修生をインターンとして受け入れたことをきっかけに同社に入社したセネガル出身の外国人材の方が母国とのネットワークを生かして、現地の配電状況や条件、現地での車両リースや通訳雇用等について情報を収集し、技術提案のコア人材・エンジニア、そして現地調整役として活躍しています。



開発途上国でビジネスを行いたい

中小企業・SDGsビジネス支援事業

企業の皆様が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と、企業様の海外展開を目指します。



株式会社ナカムラ消防化学（長崎）



グローバル人材を育成したい

JICA海外協力隊(民間連携)

今後、事業展開を検討している国へ派遣し、活動を通じて、現地語、文化、商習慣、技術レベル、各種ニーズ等を把握したり、ネットワークを作ったりすることが可能です。



現地のビジネス事情を知りたい

日本センター

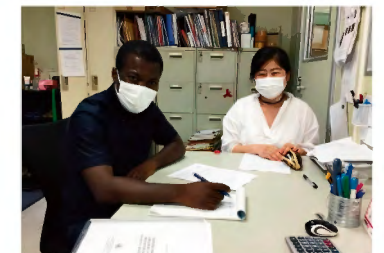
ベトナム、カンボジア等9ヶ国において、現地のビジネス事情等の説明や相談、現地経営人材及び日本企業間のネットワーク構築を支援します。日本センターで学ばれる経営人材が来日された際に、九州でマッチングセミナーを開催し、商談がまとまった事例もあります。



外国人材と繋がりたい

アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)

アフリカの産業人材育成と日本企業のアフリカビジネスをサポートする「水先案内人」の育成を目的としたプログラムです。将来アフリカ市場で販売していく際に母国でのネットワークを生かして関わってもらいたいことを見据えインターンとして受け入れを行う等、九州でも活用が広がっています。



株式会社九州メディカル（福岡）



JICA海外協力隊を目指す皆さま

— 今こそ、世界へ。未来が生まれる、最前線へ —



グローバルな環境で 自身の力を試す、磨く。

JICA海外協力隊は、開発途上国や中南米地域の日系人社会からの要請に基づき派遣され、現地の人々と共にその国や地域の課題解決に取り組めます。

これまでとは異なる環境に長期間飛び込み、地域の人々と共に試行錯誤を重ねる中で磨かれるコミュニケーション力、課題分析・解決力はみなさんのこれからの人生を切り開く代えがたい力になること間違いなしです。



日本のローカルで学び、日本と世界を繋げるひとに。

～ JICA海外協力隊グローバルプログラム～

海外派遣前に、自治体等が実施する地域活性化、地方創生等の取組みにOJTとして参加する機会をご提供します。

「課題先進地」とも言える日本のローカルで学んだ力は、グローバルな環境でもあなたの大きな武器となるでしょう。また、地域とのご縁を経て、日本と世界をつなぐ力も身に着けることができますはず。



市民の皆さま

— 触れて！感じて！多様な世界！ —

国際協力イベントに 参加・協力したい



九州各県での国際協力イベント

九州各県の国際協力推進員（JICAの窓口）が実施するイベント情報は、JICA九州ホームページに掲載しています。ぜひご参加ください。



世界の人たちと 交流したい



国際交流プログラム

JICA研修員から母国の魅力や海外から見た日本の印象などについてリアルな話を聞いてみませんか。



世界のこと・SDGs のことを調べたい



JICA九州 図書室

国際協力を中心とした各種書籍・資料を取り揃えています。明るいオープンスペースでお子様から大人まで、どなたでもお気軽にご利用いただけます！



海外の食を楽しみたい



レストラン「JICAFe」

世界各国の料理を週替わりでご提供しています。まずは、「食」から世界に触れてみませんか。



#九州と共に

JICAは、日本の政府開発援助(ODA)を担う国際協力機関として、開発途上国に対する数多くの事業を展開し、SDGsに代表されるさまざまな課題に取り組んできました。

JICA九州では、1989年の開所以来、大学、自治体、NPO・市民団体等九州各地の様々な関係者と共に、近代の発展を通じて培われた技術と知恵を開発途上国の社会課題の解決に繋げてきました。

また、次世代を担う人材の育成にむけて学校等の教育機関と連携するなど、国際協力を通じて得た知見の日本国内への還元にも注力してきました。

近年では、グローバル化の加速等に伴い、開発途上国と日本国内の社会課題に見受けられる共通点も増えてきました。これらの社会課題は不可分の関係にあり、従来の協力する・される立場を超えて、社会課題の解決策を「共創」共に創りあげていく時代に入ったと言えます。

JICA九州は、「世界と九州の人財と知見を繋ぐGateWay」として、九州各地のみなさまと共に、九州と世界の未来を共に創る存在でありたいと想っています。

中小企業・SDGsビジネス支援事業

タイの地域福祉・保健医療の向上に向けて
介護支援ロボット「みまもりシステム」の普及・実証事業を実施



株式会社エイビス (大分)

#環境 #保健医療 #再生可能エネルギー #農林水産業 #地域理解
#社会課題 #教育 #中小企業 #海外展開 #スタートアップ支援
#多文化共生 #外国人材受け入れ #共創

草の根技術協力事業

自治体で培われた廃棄物分別・収集・処理の
一連のシステム確立を支援



研修員受入事業

開発途上国から消防士を招聘し、
各国の消防・防災能力向上にむけた研修を実施

